

太宰府市短歌ポスト第七十二期入選歌

(平成二十三年十一月二十三日)

晴着着て草履で渡る太鼓橋手取り足取り上がって下る

(白井 道義)

紅萩は小枝にそろりと花咲かせ親世音寺の秋を告げたり

(山本 憲一)

去年の夏友が願った我が合格今年は私が願う番かな

(吉田 幸弘)

天拝山の月こそかかれ椿花山峰美しく明けむとしつ

(横山 美恵子)

子等遊ぶ政庁跡に秋の風往時をしのぶ礎石のあまた

(白井 道義)

いにしえの西のはずれの戒壇に訪う人もなく夏の風たつ

(滝沢 健)

歌碑の前万葉人の麗しき心伝わり凜と佇む

(西田 省三)

都府楼の礎石にすわり雲見れば常なるものたえて無かりき

(折山 正武)